H30塩川小学校 校長室だより

30年8月27日(月)166





~千ェックとアクシ

6月下旬に実施した「学校アンケート」の結果がまとまりました。 今年の重点である「あ・は・も」の力のさらなるパワーアップについ ては、特に、「あいさつ」の評価が高くなっています。6年生の大夢くん が、市の少年の主張大会で「名前を付けたあいさつ」を主張し「最優秀

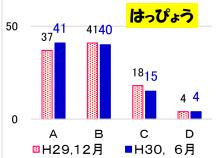
賞」となりましたが、6年生を中心としたその活動の成果かと思います。 また、保護者の自由記述では、「先生方が熱心。相談しやすい。子ども をほめてくれる。」等の理由で、「教職員」を、塩川小のよさの2番目に

あげてくださいました。 裏面に原文→

塩川

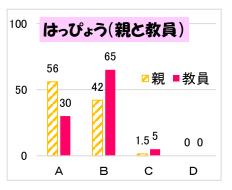


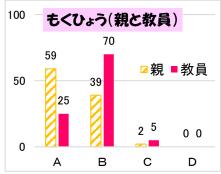




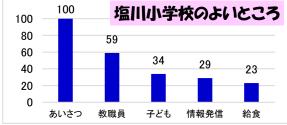


右側のグラフは、親と教員を 対象とした結果です。親には、 「学校は、発表できる子を育て ているか?」教員には、「発表で きるよう指導しているか?」と いう問いをしています。二学期 は、教員のA評価が高まるよう ご指導ください。





塩川小学校教職員に対する評価が高いです。





です。一学期の評価を改善に生かしながら、 学習に生活、運動に『目標・めあて』を持っ て取り組ませ、達成感を味わわせましょう。

- 〇先生方の笑顔もよく、あいさつもよくしてくれます。
そう いう姿を見ている子ども達もしっかりあいさつしていま すし、笑顔もとても素敵です。先生方と親の仲もよく、こ の小学校に出して正解だったなと感じました。
- ○学校だよりや学年だよりで、子ども達の姿やよいところ を伝えてくださっているところ、とてもありがたいです。 担任の先生が細やかに子どものことを見てくださり、授 業もわかりやすいです。安心して子どもを預けられます。
- 〇子ども達をたいへんよくほめてくださっているのが、と ても印象的です。○先生方どなたも親切で、子ども一人 一人のよいところを知っているところです。愛があると 思います。転校してとても感じました。
- 二学期の最重点は、「あ・は・も」の「目標」〇先生方の"子ども達をもっとよくしよう"とか、"子ど もを理解しよう"という気持ちがよく伝わってきてうれ しく思います。子どもをよくほめてくださる先生が多 U)

喜多方市大会最優秀賞

D>2

を見ていると、こっちも てくれました。彼の笑顔 て、あく手であいさつし

した。外国でも「笑顔」

発するときの不安は完全

トラリアでの経験から、

ました。ぼくは、オース

これはきっといいあいさ

つになるぞ、と思いまし

ができました。日本を出

に消え、なんだか、オー

自然に笑顔になってきま

り、少し安心することが

ストラリアになじんだ感

た。

は通用するのだとわか

塩川小6年

笑顔で迎えてくれまし に着くと、やはりみんな できました。 ホストファミリーの家 最初に交わ した。 と前から「さわやかあい は、ぼくが入学するずっ塩川小学校の屋上に じになり、心がはずみま

うかですれちがう友達や

が、今では学校にひびき

仲良しの町にしたいと思

わたるようなあいさつと

います。

原文のまま

まず、ぼくたちは、ろ

先生に、「〇〇くん、お

はようございます。

た。

した言葉 単な英語で紹介すること ほぐれ、塩川小学校の友 くれたこのあいさつをき とのない喜びを感じまし は、これまで味わったこ っかけに、自分の緊張も ヒロム。」でした。 た。ぼくの名前を呼んで な、 ハロ ぼく ちは、相手の名前をつけ 外国での経験を通して、 ってやってみることにし げられています。ぼくは、 たあいさつを、手本とな かを考えてみました。そ さつ」という看板がかか し、どんなあいさつなの 「さわやかあいさつ」っ な、心が通じあったよう 〇〇くんに伝わったよう した。ぼくのあいさつが あいさつを返してくれま が、一 笑顔であい 照れたような表情です た。すると、友達は、 ょっとおどろいたような ぼくに、ていねいに さつしま はこう答えます。 なふんい気でいっぱいで 仲良しで、とてもすてき 笑顔でいっぱいです。 てもさわやかで、みんな 0 『さわやかあいさつ』

世界にも通用するもの

小野田大夢君 な気持ちになりました。 これだったのかと分かり れたときの喜びの理由は ました。 ホストファミリーに「ハ 今年から始めた「名前 だけでなく、喜多方市全生が実践し、塩川小学校生が実践し、塩川小学校 と聞かれたら、今、ぼく やかあいさつとは、心が になります。」と。 を付けたあいさつは、と のことです。相手の名前 い気持ちになるあいさつ 通じ合うあいさつ、優し ってどんなあいさつ?」 てもさわやかなあいさつ 僕たちが考えた「名前